

教科【社会】・種目【地理的分野】

書名 項目	新しい社会 地理	$\frac{2}{\text{東書}}$
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○イラストによる模式図などが多く提示され、生徒にわかりやすいように工夫されている。 ○「チェック」、「トライ」では、学習の振り返りにより知識の定着を図れるような活動となっている。 ○地図の見方や読み取り方、統計資料の作成等地理的技能を身に付けるために「スキル・アップ」が設定されており、学習に必要な技能の定着を図れるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地理にアクセス」では、知識を活用したさらに深い学びへと思考させる内容が提示されている。 ○「みんなでチャレンジ」では、表現力の育成へ導く課題内容となっている。 ○地歴公民関連マークや他教科の関連マーク、「考える」コーナーでは、学習内容を深めることができる。 ○各州・各地方の面積・人口・産業の割合があり、どのような地域であるのかを思考させ、予想して内容を学んでいくことができるものとなっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入活動ページがあり、興味関心を高める工夫がされている。 ○「まとめの活動」ページでは、知識の整理や単元の構造化を生徒に促し、様々なまとめ方による表現を行い、さらに追究課題を設定することで生徒自らが学びに向かうよう工夫されている。 ○SDGsの内容がわかる資料を提示し、探究的な学習に結びつけられるような構成となっている。 ○地域の調査では、細かい調査へのステップが設定され、生徒自らが進めやすくなっている。 ○「もっと地理」のページでは、最新の話題や課題が挙げられ、多面的・多角的な視点で探究ができる内容である。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「地理にアクセス」や「インタビューコラム」「もっと地理」を掲載し、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」が設けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 ○資料が多く、配色も工夫されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインを意識した表記、グラフとなっている。 ○文章が短くまとめられ、読み進めやすいものとなっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「導入の活動」で単元全体を貫く「探究課題」を立て、1時間単位ごとに「学習課題」を解決し、思考ツールを使った「まとめの活動」で「探究課題」を解決する流れが構造化されている。 ○他分野と関連している資料や特設ページには、「分野関連マーク」が設定され、三分野の系統的な学習が展開できるように工夫されている。 ○写真資料、説明文、グラフなどバランスよく構成されている。 ○自らが調べ、追究できる内容が設定され、SDGsに関連した資料をもとに学習を進めることができる構成となっている。 	

教科【社会】・種目【地理的分野】

書名 項目	中学社会 地理 地域にまなぶ	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 教 出 </div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページの始めに「学習課題」を掲げ、1単位時間の内容を整理しながらまとめる活動ができるように「確認コーナー」が設けられている。 ○章・節の最後に「学習のまとめ」を設定し、基礎・基本の定着が図られるように工夫されている。 ○単元のまとめのページでは、位置を確認して、用語を振り返ることができる。 ○統計資料や主題図が多く掲載され、読み取りなどの技能習得への工夫がある。 ○環境の内容に着目した学習ページが多くあり、SDGsに関連したものとして学びやすいものとなっている。 ○各国の様子を学ぶ際、その国がどこに位置しているのか、地球儀で示すところがあるため理解度を高めてくれる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1時間の学習の最後に「表現」のコーナーを設定し、振り返りの学習として自分の言葉でまとめたり、対話活動をしたりすることで思考力・判断力・表現力の向上が図れるように工夫されている。 ○歴史・公民との関連が示されており、学習を深めることにつながる。 ○単元まとめの「Q」の活動により、深い学びへと導く内容となっている。 ○日本地理において、都道府県別の生産割合が学ぶページにあることで、学習内容を理解し、さらに思考力を高める活動へとつなげることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入ページに地球的課題が提示され、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成につながる。 ○地域調査では、1～6の手引きに流れを示し、例題を提示しながら生徒自らが学習できるようになっている。特に防災に関連した例となっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭や折り込みページ、扉ページに資料や写真を大きく掲載することで、地図への興味・関心が高まるように工夫されている。 ○統計資料、主題図が多く掲載されている。 ○「まなびリンク」の二次元コードは、調べ学習の際のサポートとなる。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文量が適度であり、読みやすい文となっている。 ○難解な用語や補足説明の必要な個所について、巻末に用語解説を設けている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○地図が多くページで掲載され、地理的事象や位置を確認しやすくなっている。 ○章・節といった「内容のまとめ」ごとに、学習の見通しが端的に示している。 ○導入資料に地球的課題が提示され、よりよい社会の実現に向けての深い学びに向かうことができる内容となっている。 ○三分野の学びを関連付けるために「関連」マークが設定されており、系統的な学習が展開できるようになっている。 	

教科【社会】・種目【地理的分野】

書名 項目	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46 帝国
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1時間の内容が「学習課題」から本文、振り返りという展開で構成されている。本文には全編にわたり地理的事象の仕組みや観念等の基本的な知識が理解できるように、具体例を挙げながら記述されている。 ○単元導入の「写真で眺める」では、諸地域の様子が概観できるようになっている。 ○資料の読み取りやグラフの作成等の力を伸ばすための「技能をみがく」コーナーが設けられ、「地理的な見方・考え方」を働かせるうえで必要な基礎的な技能が習得できる。 ○日本地理では、各地方をイラストで概観できるページがあり、単元導入や学習後の知識の整理に活用できる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○グラフに「資料活用」という表記があり、思考するための課題が提示されている。 ○異文化理解・国土理解から深い学びへと導くような工夫となっている。 ○各章末には「章（節）の学習を振り返ろう」が配置され、章の学習で得た知識を生かして、地理的な見方・考え方を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。 ○「地理プラス」では、学習内容を深められるようなものが提示されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「身近な地域の調査」では、調査の視点が提示されており、生徒が取り組みやすい構成となっている。 ○最終単元の「地域の在り方を考える」では、「持続可能な社会」を実現する例を提示し、より具体的に地域の在り方を構想し、社会の発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の諸地域の内容では、衣食住がわかるように表記された写真資料がある。 ○「声」という現地のインタビューが単元を深める内容となっている。 ○ICT機器を活用して利用できる二次元コードが設けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○用語解説や関連資料について、本文のページの側注欄に設けられている。 ○「確認しよう」、「説明しよう」など、取り組むべき内容がわかりやすく提示されている。 ○本文、資料、側注等が統一されたレイアウトで配置されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に「単元を貫く問い」が設けられており、学習の見通し・振り返り活動の基本的な流れが示され、見通しをもった学習活動につながるよう工夫されている。 ○言語活動に導くための工夫が設定されている。また、問いに対して、見通しと振り返りを行い、深い学びへと導くよう構成されている。 ○用語の解説が学習ページ内に明示され、写真資料を中心に取り組みやすい構成となっている。 ○「地理プラス」の内容によって、学習内容を深め、課題を追究することができる。 ○「学習課題」が提示され、学習内容がとらえやすくなっている。 	

教科【社会】・種目【地理的分野】

書名 項目	中学社会 地理的分野	116 日 文
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「確認」による振り返りを行い、知識の定着を図ることができる。 ○単元の学習まとめでは、知識の整理を行うことができる。 ○世界の各州に、歴史的な背景の内容が書かれており、歴史的分野との関連で知識を習得できる。 ○「トライ」のコーナーを設定し、必要な情報の読み取り等ができるようにしている。 ○「スキルUP」を設定し、生徒の発達の段階に応じて、必要な技能を系統立てて習得できるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクティビティ」等のコーナーで思考力・判断力・表現力の向上を図る場面を設定し、生徒が自分の言葉で表現できるような工夫がなされている。 ○「深めよう」に取り組むことで、言語活動を行い、内容を深め、知識の定着と表現力向上につなげることができる。 ○地理的事象を防災に関連させ、生徒に考え、課題解決に向けた取組を話し合う活動を行うことができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○追究テーマの提示により、生徒自らがさらに研究を行い、知識を深めることができる。 ○自由研究ページには、現代の地理的課題に関わる事例が取り上げられ、既習した内容をもとに、生徒の興味関心をさらに高めて活動できる内容となっている。 ○地域調査の学習から、まちづくり学習につなげる内容となっている。 ○導入ページの「クイズ」で、生徒の興味関心を高める工夫がある。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真を見て考えるクイズや現地の人を言葉を紹介する「声コーナー」等が設けられており、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ICT機器を活用して利用できる二次元コードが設けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 ○「地域調査の手法」では、京都府伏見区を例にとり、調査方法の手法が詳しく説明され、最終章「地域のあり方」でも「京都市」を例に取り上げ、地域の課題を追究する方法が示されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○文章が多く、内容が充実している。 ○各ページにインデックスがあり、学習ページが把握しやすい。 ○導入資料、学習課題、本文図版、確認等が統一されたレイアウトで配置されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習課題」と「見方・考え方」が明確に示され、見通しをもった学習がすすめられるように工夫されている。 ○単元の終わりには「学習のまとめ」が設けられ、基礎基本の定着と学習内容を深められるように構成が工夫されている。 ○写真資料が多く掲載され、思考し、内容を理解、表現へと導く構成となっている。 ○文章を読み進め、関連した資料を確認し、読み取ることで知識の習得が行える分量と資料配分となっている。 ○防災に関連付けた内容が多く、課題解決型学習への取組ができるようになっている。 ○「確認」や「深めよう」などの提示により、知識の定着や言語活動を行うことができる。 	

